

執筆者紹介

趙 時英 本学商学部准教授

恒木健太郎 本学経済学部教授

〈編集後記〉

月報 717 号に、専修大学研究助成の成果報告を兼ねた論文 2 本が投稿された。多くの方にご覧いただけるよう、この場を借りて、それぞれの概要をご紹介します。

趙論文は、韓国の商業統計を用いて、小売業の規模構造（店舗数、従業員数）と業種別店舗数の変化に加え、オンライン・ショッピングの動向に関する分析をおこなった。従来、韓国の小売業は、零細性、生業性という特徴が指摘されていたが、分析結果から、大型化、法人化、チェーン化という近年の新たな特徴が明らかにされた。

恒木論文は、Felix Martin の貨幣論の概要を整理し、今後の貨幣・信用理論史研究の論点を導出した。Martin の「債務の移譲可能性」というコンセプトに注目して分析し、Martin と Macleod の議論を対比した分析の必要性や、Martin のオリエンタリズムの批判的検討の必要性という論点を提示し、研究の道筋をつけた論考である。 (N.S.)

2023 年 3 月 20 日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大 矢 根 淳

製 作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合 4-21-19 目白 LK ビル 3F 電話 (03)6915-3835
